

良食味なマスクメロン品種「熊本VM03」

本県が育成したアールスメロン「サカエ秋冬」の良食味は維持しながら品質が安定している F₁品種「熊本VM03」を育成した。「熊本VM03」は、果形は正球形で、果皮色は灰白色、果肉はクリーム色で芳香が強く繊維質が少なくメルティング質で非常に食味に優れる。

農業研究センター農産園芸研究所野菜研究室 (担当者: 村上尚穂)

研究のねらい

本県が平成11年に良食味アールスメロン品種「サカエ秋冬」を育成したが、現地栽培では果実がしまりやすい、肩こけ果が発生しやすいなど果実品質が低下し問題となった。

そこで、食味の良さは維持しながら果実外観が安定した品種を育成する。

研究の成果

新たに育成した「熊本VM03」の特性は以下のとおりである。

1. 草勢 「サカエ秋冬」と同程度で「雅302」より若干弱い。
2. 花性 子づるの第1節目に両性花が安定して着生する。
3. 果実肥大性 「雅302」「セイヌ春」と同程度に肥大する(表1)。
4. 果実外観 果皮色は灰白色で、果形は正球形である。果梗は伸びやすく、ネット密度はやや粗くなる場合がある(表2、図1)。
5. 果実内部品質 果肉色はマスクメロン特有のクリーム色で、糖度は14度以上で安定している。芳香が強く極めて繊維質が少なくメルティング質である(表1、図1)。

普及上の留意点

1. 現地適応性検討のための資料とする。
2. 従来のアールスメロンより果実硬化開始が遅いので土壌水分・温度管理に注意する。
3. 平成22年10月出願名称「熊本VM03」として品種登録申請を行った。

表1 果重及び糖度、食味

品種	収穫期	果重 (g) ± SD	糖度(Brix) ^z ± SD	食味 ^y
熊本VM03	5月下旬	1,602 ± 127.0	14.5 ± 0.5	4.1
	6月中旬	1,756 ± 145.2	15.9 ± 0.5	4.0
雅302	5月下旬	1,559 ± 169.4	14.0 ± 0.0	3.9
	6月中旬	1,713 ± 271.6	14.6 ± 0.5	3.8
セイ又春	5月下旬	1,590 ± 178.8	13.9 ± 0.6	3.0
	6月中旬	1,932 ± 133.0	14.9 ± 0.4	3.3
ベネチア春	5月下旬	1,343 ± 191.4	12.9 ± 0.4	2.9
	6月中旬	1,449 ± 146.8	14.0 ± 0.7	3.1

平成21年5月、6月実施 SD: 標準偏差 (Standard Deviation)

^z 果実中央部を測定 ^y 0:不良~5:良

表2 果実外観

品種	収穫期	ネット ^z			果梗長 (mm)
		密度	盛り	揃い	
熊本VM03	5月下旬	3.9	4.3	3.5	18.2
	6月中旬	4.0	4.1	3.6	18.2
雅302	5月下旬	4.9	5.0	3.5	16.8
	6月中旬	4.8	4.9	3.5	18.1
セイ又春	5月下旬	4.3	4.4	3.1	17.6
	6月中旬	4.8	3.8	3.0	19.9
ベネチア春	5月下旬	3.7	3.2	2.7	10.6
	6月中旬	4.4	3.2	2.9	13.7

平成21年5月、6月実施

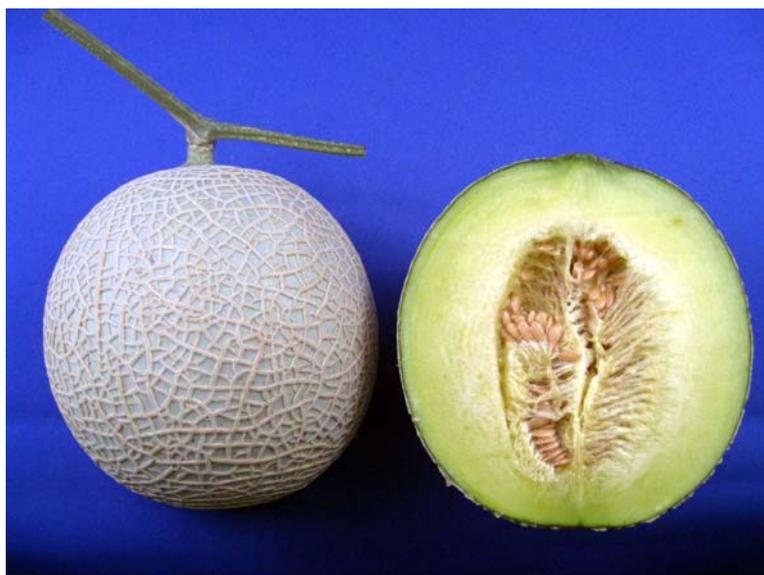
^z 1:粗・不良~5:密・良

図1 果実外観及び内部